



昨夏『チャイコフスキーの帝国』を出版したロシア音楽研究者・プリンストン大学音楽学部教授のサイモン・モリソン氏による講演。チャイコフスキーのモスクワ音楽院での指導、また日本と「クラシック音楽」にとって重要な役割を果たした彼の生徒について語る。

サイモン・モリソン教授講演会

# ロシアの先生、日本の生徒／日本の先生、ロシアの生徒

— 19世紀以降、ふたつの音楽文化はどのように情報を提供し合ったのか

Russia's Teacher, Japan's Student; Japan's Teacher, Russia's Student:

How two great musical cultures informed each other in the 19th century, and beyond.

## 講演者

**サイモン・モリソン** (プリンストン大学音楽学部教授)

Prof. **Simon Morrison** (Department of Music at Princeton University)

司会：菊間史織 (SRC 共同研究員)

## 開催日時

**2025年 3月10日 (月) 16:00~18:00**

## 会場

### オンライン開催

※使用言語：講演言語は英語。原稿とその和訳を当日 Zoom にて配布します。  
司会は日本語。質疑応答には通訳がつきます。

オンライン参加登録 URL

<https://zoom.us/meeting/register/vBGGbHpVTEuO57B3z5zS-Q>



参加登録 URL

主催：スラブ・ユーラシア地域 (旧ソ連・東欧) を中心とした総合的研究  
(共同研究班「スラブ・ユーラシア地域の文化・言語」) (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)

共催：国際的な生存戦略研究プラットフォームの構築 (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)

後援：日本音楽学会

問い合わせ先：adaisuke@slav.hokudai.ac.jp (担当・安達大輔)

